

## 消化器内科 初期研修プログラム【必修】

神戸百年記念病院消化器内科の初期研修では、まず救急患者や入院患者の診療を軸に消化器疾患の病態生理とその治療法について学びながら、腹部超音波検査など基本となる手技についてもトレーニングを行い身に付けていただきます。3か月以上のコースを選んでもいただければ消化器内視鏡検査や治療手技も含めたトレーニングを行い、将来消化器病学における幅広い知識と技能を有し質の高い医療が実践できる専門医となっていけるための土台となる研修も行います。当院では年間1万件程度の内視鏡検査を行っており、内視鏡検査や治療については十分な症例数のもと豊富な経験を積んでいただくことができます。

### 1・2か月コース

#### 救急外来および病棟診療

救急患者や受け持ちの入院患者の診療を行う。まず自分で検査・治療の計画を立案し、主治医や常勤スタッフの助言を受けつつ診療にあたる。

#### 超音波を使用する手技

まずはスクリーニング検査を見学し検査の概要を把握し、その後常勤スタッフの指導のもとでスクリーニング検査のトレーニングを行う。

#### 内視鏡を使用する手技

上部消化管内視鏡検査を見学し検査の概要を把握し、模型を用いて操作法をトレーニングする。

#### 放射線を使用する手技

透視下内視鏡検査、ERCP、イレウス管挿入を見学し、検査・治療の概要を把握する。イレウス管挿入については操作のトレーニングも行う。

### 3か月以上のコース

#### 救急外来および病棟診療

救急患者や受け持ちの入院患者の診療を行う。まず自分で検査・治療の計画を立案し、主治医や常勤スタッフの助言を受けつつ診療にあたる。

#### 超音波を使用する手技

まずはスクリーニング検査を見学し検査の概要を把握し、その後常勤スタッフの指導のもとでスクリーニング検査のトレーニングを行う。手技に慣れてくれば胆嚢穿刺など超音波を用いた治療のトレーニングも行う。

#### 内視鏡を使用する手技

上部消化管内視鏡検査を見学し検査の概要を把握し、模型を用いて操作法をトレーニングする。その後常勤スタッフの指導のもと上部消化管内視鏡検査のトレーニングを行い、それができるようになれば大腸内視鏡検査のトレーニングや止血術・ポリープ切

除術などの治療のトレーニングも行う。

放射線を使用する手技

透視下内視鏡検査、E R C P、イレウス管挿入を見学し、検査・治療の概要を把握する。

イレウス管挿入については操作のトレーニングも行う。